

国立遺伝学研究所 省エネ・節電対策の取り組み

■基本方針

国立遺伝学研究所では、経済産業省の「2022年度の電力需給対策について」を踏まえ、研究機能の維持と構成員の健康の両立を踏まえた、持続可能な省エネ・節電対策の取り組みを行うものとする。

■取り組み内容

照明設備

- ・必要な箇所を必要な時のみ点灯する。
- ・昼休みは、必要な箇所を除き照明を消す。

空調設備

- ・室内の設定温度の適正化
- ・使用していない部屋のエアコン等（エアコン、ファンコイル等）は停止する。
- ・利用状況を踏まえ、サーバー等の設置場所については、設定温度の調整を行う。

電化製品、実験機器

- ・使用していないパソコン及び実験機器のコンセントを抜いておく。
- ・ジェットタオルの使用を停止する。
- ・消費電力が高い機器（冷凍庫等）については、積極的な停止・集約化を行う。

その他

- ・毎週水曜日をノー残業デーとし、その他、計画的な休暇の取得に努める。
- ・定期的な所内の見廻りを行い、不要と思われる箇所の空調や機器について、注意喚起を行い、節電についての呼びかけを行う。

国立遺伝学研究所 電気・ガスの使用実績（実績・前年度比）については [こちら](#)

※閲覧の際は、遺伝研のメールアドレスでログインする必要があります。

または、下記の遺伝研HPからも閲覧できます。

- ・国立遺伝学研究所 所内向け情報 ホーム → その他の情報 → 電気使用量、ガス使用量実績